

# 因島業界動向

2023年10月～12月

(令和5年10月～12月)

因島商工会議所

## 調査の概要

1. 調査方法 FAX送信・オンライン回答によるアンケート調査(景気観測調査の回答使用)
2. 調査内容 ①景況のほか、生産額・売上額など6項目について、令和5年6月の状況と前年同月調査との比較  
②同一項目における令和5年10月～12月の先行き見通し
3. 調査時期 6月初旬～下旬
4. 調査対象 52社(製造業:17社 非製造業:35社)
5. 回収状況 34社(製造業:13社 非製造業:21社)※内オンライン回答 8社  
回答率 65.4%
6. 回答構成比率

製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
36.1%	13.9%	13.9%	8.3%	27.8%

**DI:**各調査項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準に、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答割合が多いことを示す。

DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

※注 原材料・商品仕入価格:DI = (下降) - (上昇)

製品・商品在庫:DI = (不足) - (過剰)

# 1. 【因島経済動向調査(DI方式) 報告】

## ～因島景況の総括 令和5年12月期～

全業種DI(良い－悪い)は、▲25(前回調査▲19、R4.12月調査▲20)で前回調査から比較すると▲6ポイントとなった。製造業では、造船・同関連:25(前回調査 33)、その他機械金属:67(前回調査 25)、食品等▲50(前回調査▲80)で、製造業DIは 0(前回調査 ▲17、R4.12月調査▲19)と+17ポイントとなった。

非製造業では、建設業:▲40(前回調査▲20)、卸売業:▲60(前回調査▲40)、小売業:33(前回調査0)、運輸・サービス業:▲50(前回調査▲20)で、非製造業DIは▲39(前回調査▲20、R4.12月調査▲22)で前回調査より▲19ポイントとなった。

### 【製造業】

造船、機械金属製品において工事量の増加が見受けられ、前回よりポイント数は減少したものの景況は上向きで推移。食品関係では価格改定申し出により受注減。管内での工事が無い為土石製品関係で景況は減少。

### 【非製造業】

全ての業種において仕入れ価格の増加や市場規模の減少により受注量の減少が進んでいる。小売業種は記録が残っている平成21年6月以降の計測以来初のプラス推移となった。

## 【令和5年12月期 景況DI】

《上段:当月調査分、中断:前回調査分、下段:R4.12月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
<b>全業種(当月)</b>	<b>14%</b>	<b>46%</b>	<b>39%</b>	<b>▲ 25.0</b>
(前回)	17%	47%	36%	▲ 19.0
(前年同月)	18%	44%	38%	▲ 20.0
<b>製造業(当月)</b>	<b>23%</b>	<b>54%</b>	<b>23%</b>	<b>0.0</b>
(前回)	25%	33%	42%	▲ 17.0
(前年同月)	19%	43%	38%	▲ 19.0
<b>非製造業(当月)</b>	<b>9%</b>	<b>43%</b>	<b>48%</b>	<b>▲ 39.0</b>
(前回)	13%	54%	33%	▲ 20.0
(前年同月)	17%	44%	39%	▲ 22.0

## 【令和6年1月～3月の先行き見通し 因島景況】

全業種DI(良い－悪い)は▲22(前回月調査▲31、R4.12月調査▲23)と前回調査から+9ポイントの見通しである。製造業では、造船・同関連: 25(前回調査 0)、機械金属:0(前回調査 0)、食品等▲17(前回調査▲60)で、製造業DIは 0(前回調査 ▲25、R4.12月調査▲12)で+25ポイントの見通し。

非製造業では、建設業:▲40(前回調査▲20)、卸売業:▲60(前回調査▲40)、小売業:▲67(前回調査▲50)、運輸・サービス業:▲10(前回調査▲30)で、非製造業DIは▲35(前回調査▲34、R4.12月調査▲39)で▲1ポイントの見通しである。

## 【令和6年1月～3月の先行き見通し 景況DI】

《上段:当月調査分、中断:前回調査分、下段:R4.12月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
<b>全業種(当月)</b>	<b>3%</b>	<b>72%</b>	<b>25%</b>	<b>▲ 22.0</b>
(前回)	8%	53%	39%	▲ 31.0
(前年同月)	12%	53%	35%	▲ 23.0
<b>製造業(当月)</b>	<b>8%</b>	<b>84%</b>	<b>8%</b>	<b>0.0</b>
(前回)	8%	59%	33%	▲ 25.0
(前年同月)	19%	50%	31%	▲ 12.0
<b>非製造業(当月)</b>	<b>0%</b>	<b>65%</b>	<b>35%</b>	<b>▲ 35.0</b>
(前回)	8%	50%	42%	▲ 34.0
(前年同月)	6%	55%	39%	▲ 33.0

～因島生産額・売上の総括 令和5年12月期～

全業種DI(良い－悪い)は3(前回月調査▲3、R4.12月調査▲9)で+6ポイントとなった。

製造業では、造船・同関連: +100(前回調査+100)、機械金属: 67(前回調査 0)、食品等▲50(前回調査▲80)で、製造業DIは23(前回調査▲8、R4.12月調査 7)で+31ポイントとなった。

非製造業では、建設業:▲20(前回調査▲40)、卸売業:▲20(前回調査▲20)、小売業: 33(前回調査▲25)、運輸・サービス業:▲10(前回調査 40)で、非製造業DIは▲9(前回調査 0、R4.12月調査▲22)で、前回調査から▲9ポイントとなった。

【製造業】

造船関係は船価市場とコスト状況の相違による選別受注の姿勢は強まるが、人手不足の影響もあり受注減の可能性はあるものの、円安の為替差益もあり好調を推移。木製品関係は住宅需要の低迷に仕入高の高騰が重なり、厳しい経営状況となっている。

【非製造業】

小売業種は原材料高騰分の価格転嫁もあり堅調に推移。ホテル業種は造船関係者の宿泊減、観光関係の宿泊増と、顧客層で相対する結果となった。

【令和5年12月期 売上DI】

《上段:当月調査分、中断:前回調査分、下段:R4.12月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
<b>全業種(当月)</b>	<b>36%</b>	<b>31%</b>	<b>33%</b>	<b>3.0</b>
(前回)	28%	41%	31%	▲ 3.0
(前年同月)	26%	39%	35%	▲ 9.0
<b>製造業(当月)</b>	<b>46%</b>	<b>31%</b>	<b>23%</b>	<b>23.0</b>
(前回)	42%	8%	50%	▲ 8.0
(前年同月)	38%	31%	31%	7.0
<b>非製造業(当月)</b>	<b>30%</b>	<b>31%</b>	<b>39%</b>	<b>▲ 9.0</b>
(前回)	21%	58%	21%	0.0
(前年同月)	17%	44%	39%	▲ 22.0

【令和6年1月～3月の先行き見通し】

全業種DI(良い－悪い)は▲6(前回月調査▲25、R4.12月調査▲20)で前回調査より+19ポイントの見通しである。

製造業では造船・同関連:75(前回調査+33)、機械金属:33(前回調査 50)、食品等▲33(前回調査▲60)で製造業DIは16(前回調査 0、R4.12月調査▲6)で前回調査より+16ポイントの見通し。

非製造業では、建設業:▲40(前回調査▲60)、卸売業:▲60(前回調査▲20)、小売業:▲67(前回調査▲50)、運輸・サービス業: 20(前回調査 20)で非製造業DIは▲17(前回調査▲16、R4.12月調査▲39)と前回調査より▲1ポイントの見通し。

【令和6年1月～3月の先行き見通し 売上DI】

《上段:当月調査分、中断:前回調査分、下段:R4.12月》

	好 転	横 ば い	悪 化	DIポイント
<b>全業種(当月)</b>	<b>25%</b>	<b>44%</b>	<b>31%</b>	<b>▲ 6.0</b>
(前回)	22%	35%	47%	▲ 25.0
(前年同月)	15%	50%	35%	▲ 20.0
<b>製造業(当月)</b>	<b>31%</b>	<b>54%</b>	<b>15%</b>	<b>16.0</b>
(前回)	33%	34%	33%	0.0
(前年同月)	25%	44%	31%	▲ 6.0
<b>非製造業(当月)</b>	<b>22%</b>	<b>39%</b>	<b>39%</b>	<b>▲ 17.0</b>
(前回)	17%	50%	33%	▲ 16.0
(前年同月)	0%	61%	39%	▲ 39.0

## 2. 【在因島金融機関取扱い(残高)状況】

(単位:百万円、%)

項目 年月		残 高 合 計					
		預 金	前年同月 比	貸出金	前年同月 比	預貸率	前年同月 差
R 4 年 度 末		<b>137,023</b>	<b>99.5%</b>	<b>53,395</b>	<b>100.5%</b>	<b>39.0%</b>	<b>0.4</b>
R5 年 度	第1/四期末	139,259	99.4%	54,844	103.4%	39.4%	1.5
	第2/四期末	141,507	102.2%	53,978	102.1%	38.1%	-0.1
	第3/四期末	144,750	104.8%	54,763	102.0%	37.8%	-1.1

地方銀行2行、信用組合1行、計3行の合計。

(因島金融懇談会調)

※第3四期は11月末時点の暫定値

## 3. 【企業倒産状況】(負債総額1,000万円以上)

(単位:件、百万円)

項目 年月		倒 産 件 数		負 債 総 額		備 考
		件 数	前年比 (%)	金 額	前年比 (%)	
R 4 年 度 総 数		<b>1</b>	<b>100.0</b>	<b>531</b>	<b>531.0</b>	年度計
R5 年 度	第1/四期末	0	0	0	0.0	期 計
	第2/四期末	0	0.0	0	0.0	〃
	第3/四期末	0	-100.0	0	-531.0	〃

(㈱東京商工リサーチ広島支社調)

## 4. 【月間有効求人数・月間求職者数・求人倍率】

(単位:人、倍)

項目 年月		有 効 求 人 数		有 効 求 職 者 数		有 効 求 人 倍 率		備 考
		人 数	前年比 (%)	人 数	前年比 (%)	倍 率	前 年	
R 4 年 度 平 均		<b>3,052</b>	<b>102.9%</b>	<b>1,848</b>	<b>88.2%</b>	<b>1.68</b>	<b>1.68</b>	
R5 年 度	第1/四期	2,605	92.0%	2,105	99.1%	1.24	-0.10	
	第2/四期	2,446	79.0%	1,948	100.8%	1.26	-0.35	
	第3/四期	2,605	82.5%	1,891	104.3%	1.38	-0.36	

注:新規学卒者を除き、パートを含む。月平均は四捨五入。

(ハローワーク尾道調)

※第3四期は11月末時点の暫定平均値

## 5.【経営改善資金推薦状況】

(単位:件、万)

年 月	項 目	推 薦					決 定			
		件数	前年比 (%)	金 額	前年比 (%)	運 転	設 備	件数	金 額	前年比 (%)
令和4年度		18	81.8	10,580	51.7	8,360	2,220	16	10,620	51.4
R5 年 度	第1/四期末	7	175.0	4,580	154.2	2,930	1,650	7	4,580	178.2
	第2/四期末	5	125.0	4,390	190.9	4,160	230	5	4,390	190.9
	第3/四期末	4	80.0	2,290	72.5	2,090	200	4	2,290	95.4

※件数、金額は集計時以降変動する可能性があります。

(因島商工会議所調)

## 6.【因島商工会議所会員数】

(単位:者、社)

区 分	9月30日現在 会 員 数	新規会員数	脱退者数	12月31日現在 会 員 数
法 人	467	2	6	463
個 人	437	7	4	440
合 計	904	9	10	903

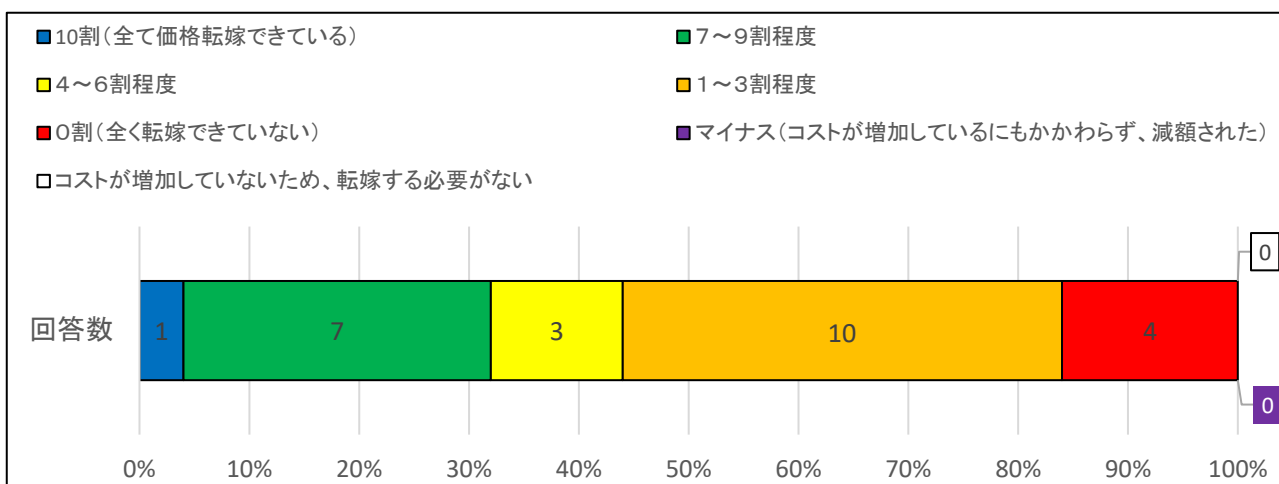
※注:組織変更含む

## 7.【今期のアンケート調査結果】

### ◆今期のアンケート調査

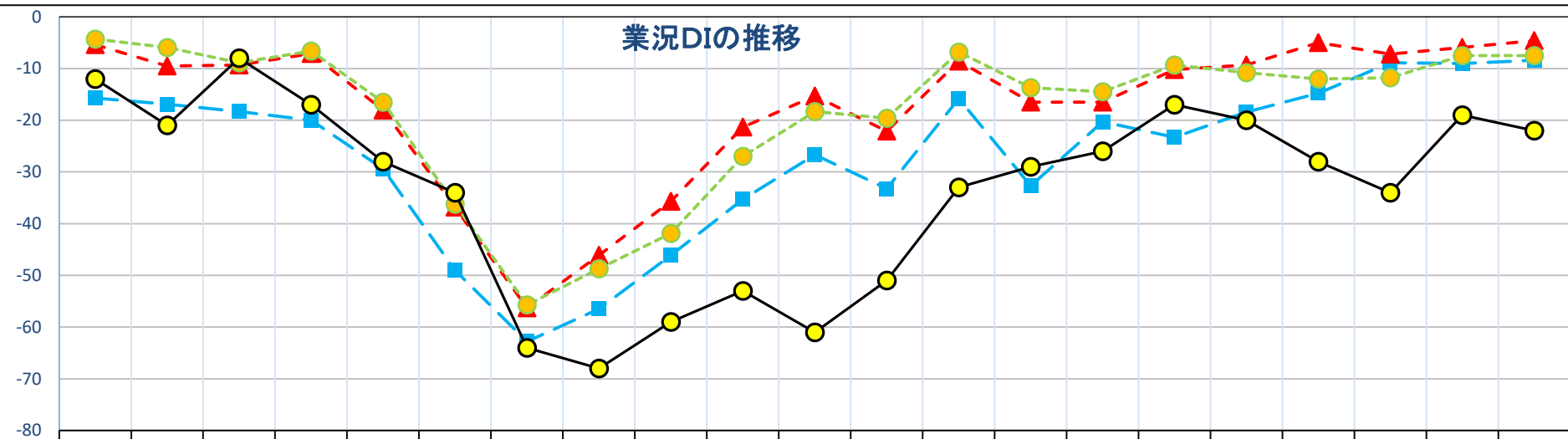
回答件数 25件

昨今の原材料高の高騰による仕入れ価格の上昇が顕著となる中、前年比で全体的なコスト増加分を価格転嫁できたと考えられるかアンケートを実施した結果、8割を超える企業が価格転嫁を実施と回答。業種別では製造業種は回答事業者すべてが価格転嫁を実施した一方、非製造業種のうちサービス業系4社が価格転嫁できていないとの回答となった。



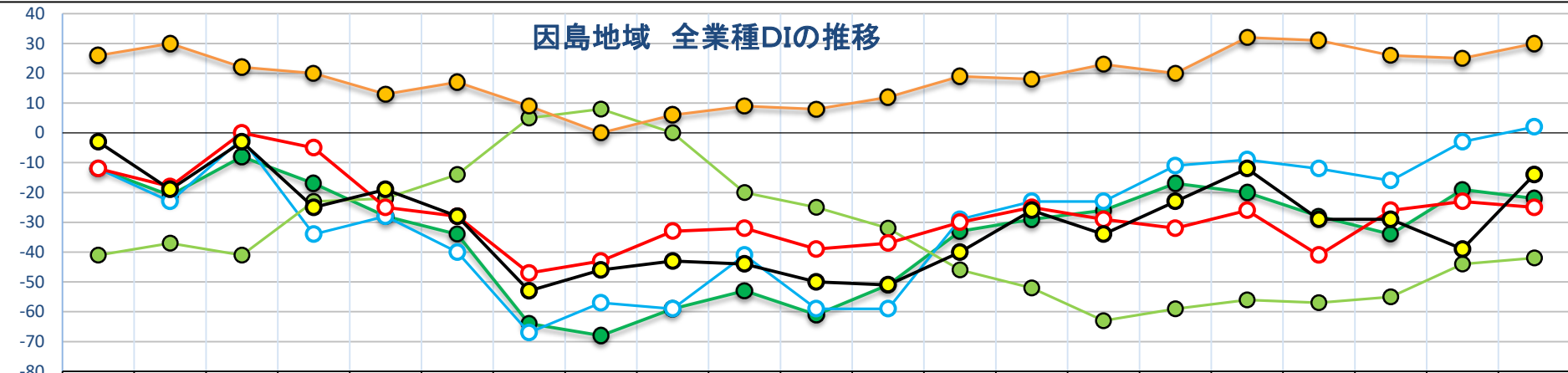
9.【因島業界動向 概況】

業況DIの推移



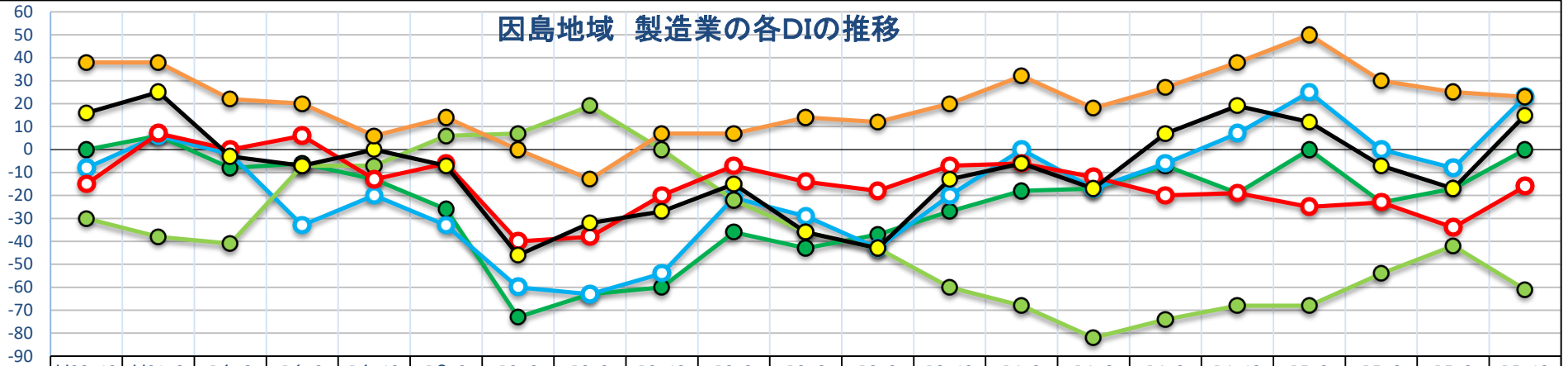
	H30*12	H31*3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3	R3.6	R3.9	R3.12	R4.3	R4.6	R4.9	R4.12	R5.3	R5.6	R5.9	R5.12
■ 全国DI	-15.7	-16.9	-18.3	-20	-29.4	-49	-62.8	-56.5	-46.1	-35.3	-26.7	-33.2	-15.8	-32.7	-20.3	-23.3	-18.4	-14.8	-8.9	-9	-8.4
▲ 広島県内DI	-5.4	-9.5	-9.3	-7.1	-18	-36.8	-56.3	-46.1	-35.7	-21.3	-15.3	-22.1	-8.6	-16.5	-16.5	-10.2	-9.3	-5	-7.2	-5.9	-4.6
● 関東地区DI	-4.3	-5.9	-8.9	-6.6	-16.5	-36.2	-55.7	-48.7	-41.9	-27	-18.3	-19.6	-6.8	-13.7	-14.5	-9.3	-10.8	-12	-11.8	-7.5	-7.5
● 因島地域DI	-12	-21	-8	-17	-28	-34	-64	-68	-59	-53	-61	-51	-33	-29	-26	-17	-20	-28	-34	-19	-22

因島地域 全業種DIの推移



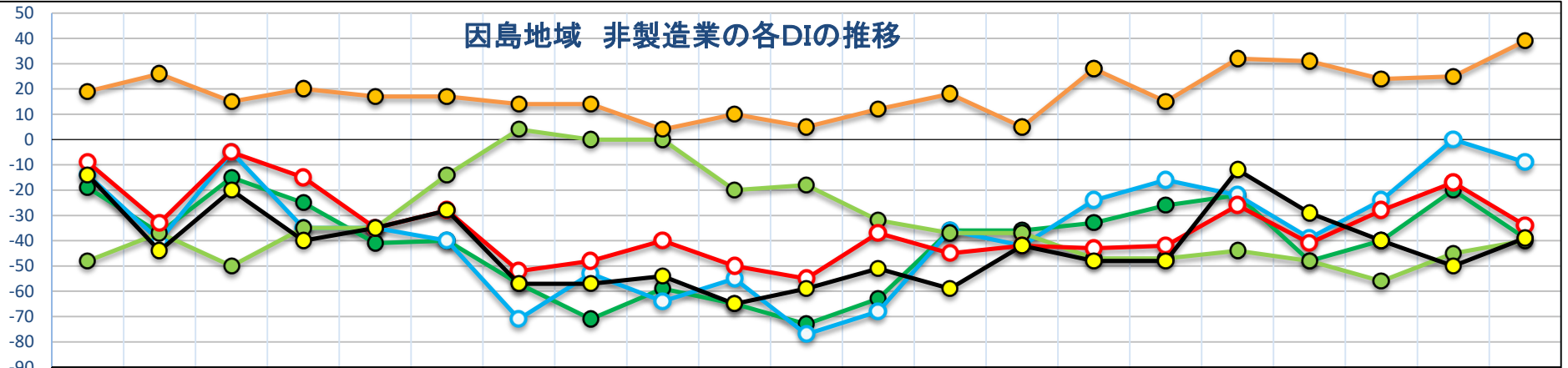
	H30*12	H31*3	R1*6	R1*9	R1*12	R2*3	R2*6	R2*9	R2*12	R3*3	R3*6	R3*9	R3*12	R4*3	R4*6	R4*9	R4*12	R5*3	R5*6	R5*9	R5*12
● 因島地域景況DI	-12	-21	-8	-17	-28	-34	-64	-68	-59	-53	-61	-51	-33	-29	-26	-17	-20	-28	-34	-19	-22
○ 売上	-12	-23	-2	-34	-28	-40	-67	-57	-59	-41	-59	-59	-29	-23	-23	-11	-9	-12	-16	-3	2
● 仕入	-41	-37	-41	-23	-22	-14	5	8	0	-20	-25	-32	-46	-52	-63	-59	-56	-57	-55	-44	-42
○ 資金繰	-12	-18	0	-5	-25	-28	-47	-43	-33	-32	-39	-37	-30	-25	-29	-32	-26	-41	-26	-23	-25
● 採算	-3	-19	-3	-25	-19	-28	-53	-46	-43	-44	-50	-51	-40	-26	-34	-23	-12	-29	-29	-39	-14
● 従業員	26	30	22	20	13	17	9	0	6	9	8	12	19	18	23	20	32	31	26	25	30

因島地域 製造業の各DIの推移



	H30・12	H31・3	R1・6	R1・9	R1・12	R2・3	R2・6	R2・9	R2・12	R3・3	R3・6	R3・9	R3・12	R4・3	R4・6	R4・9	R4・12	R5・3	R5・6	R5・9	R5・12
● 製造業 景況	0	6	-8	-6	-13	-26	-73	-63	-60	-36	-43	-37	-27	-18	-17	-7	-19	0	-23	-17	0
● 売上	-8	6	-2	-33	-20	-33	-60	-63	-54	-21	-29	-43	-20	0	-17	-6	7	25	0	-8	23
● 仕入	-30	-38	-41	-7	-7	6	7	19	0	-22	-36	-43	-60	-68	-82	-74	-68	-68	-54	-42	-61
● 資金繰	-15	7	0	6	-13	-6	-40	-38	-20	-7	-14	-18	-7	-6	-12	-20	-19	-25	-23	-34	-16
● 採算	16	25	-3	-7	0	-7	-46	-32	-27	-15	-36	-43	-13	-6	-17	7	19	12	-7	-17	15
● 従業員	38	38	22	20	6	14	0	-13	7	7	14	12	20	32	18	27	38	50	30	25	23

因島地域 非製造業の各DIの推移



	H30・12	H31・3	R1・6	R1・9	R1・12	R2・3	R2・6	R2・9	R2・12	R3・3	R3・6	R3・9	R3・12	R4・3	R4・6	R4・9	R4・12	R5・3	R5・6	R5・9	R5・12
● 非製造業 景況	-19	-37	-15	-25	-41	-40	-57	-71	-59	-65	-73	-63	-36	-36	-33	-26	-22	-48	-40	-20	-39
● 売上	-14	-40	-5	-35	-35	-40	-71	-53	-64	-55	-77	-68	-36	-42	-24	-16	-22	-39	-24	0	-9
● 仕入	-48	-37	-50	-35	-35	-14	4	0	0	-20	-18	-32	-37	-37	-47	-47	-44	-48	-56	-45	-40
● 資金繰	-9	-33	-5	-15	-35	-28	-52	-48	-40	-50	-55	-37	-45	-42	-43	-42	-26	-41	-28	-17	-34
● 採算	-14	-44	-20	-40	-35	-28	-57	-57	-54	-65	-59	-51	-59	-42	-48	-48	-12	-29	-40	-50	-39
● 従業員	19	26	15	20	17	17	14	14	4	10	5	12	18	5	28	15	32	31	24	25	39



## 景気観測調査付帯調査結果（令和5年12月分）

因島商工会議所

### 1. 貴社の景況が好転（悪化）した理由についてお聞かせください（新型コロナ5類以降の影響・対応含む）

#### 《製造業》

- ・ 島しょ部に大きな工事が無く、悪化したと思われます。《窯業・土石製品製造業》
- ・ 工事量が増加した。《機械・金属製品製造業》
- ・ 住宅業界の需要低迷の中、仕入れの高騰により損益は最悪。《木製品製造業》
- ・ 造船の受注増加。《造船・同関連製造業》
- ・ 主要材料の値上げにより価格改定を申し出たところ受注数が減少。その為既存顧客では売り上げが減少。一方で新規顧客の開拓により前年をキープの状況。《食品製造業》
- ・ 特になし。《機械・金属製品製造業》
- ・ 悪化。先行き分からない。《印刷・同関連》

#### 《非製造業》

##### ◇建設業

- ・ 仕入価格の増加。
- ・ 人口減による市場規模の縮小。
- ・ 協力会社を増やしたから。

##### ◇卸売業

- ・ 《食料品卸売業》
- ・ 材料、人件費の上昇。《食料品卸売業》
- ・ 秋から進む予定だった現場が12月にずれ込んだため。《木材卸売業》
- ・ 通販の影響が一因です。《書籍・文房具卸売業》

##### ◇サービス業

- ・ 造船関係者の宿泊が少なくなった。《ホテル》
- ・ 9月までは、コロナ禍中のままの動き。10月以降、5類以降効果の為か、団体、グループが活発に動き始め受注増に。《ホテル》
- ・ 官民ともに仕事量の減少。《その他》
- ・ 人口減少《船舶旅客》

### 2. 貴社の来春の採用状況についてお聞かせください。

#### 《製造業》

- ・ 来春の採用予定は今のところありません。《窯業・土石製品製造業》
- ・ 高卒を募集しても来ないので外国人を雇用している。《機械・金属製品製造業》
- ・ 新卒などの積極的採用を行いたいが、採用にかけられる人的余裕がなく、従来通りの中途採用

がメインとなる模様。《木製品製造業》

- ・なし《造船・同関連製造業》
- ・過去から新卒採用は行っていない。ある程度社会経験を積んだ方の中途採用は常にオープンしている。《食品製造業》
- ・予定なし。《機械・金属製品製造業》
- ・なし。《印刷・同関連》

《非製造業》

◇建設業

- ・求人しても応募がない。
- ・中途入社を進めたい。
- ・未定。
- ・募集をしたが応募が無かった。

◇卸売業

- ・採用の予定なし。《食料品卸売業》
- ・採用は考えていない。《木材卸売業》

◇小売業

- ・店舗での採用はない。《その他小売》

◇サービス業

- ・新卒者の採用は本社で行っており、今の所採用予定はありません。《ホテル》
- ・予定なし《ホテル》
- ・なし。《船舶旅客》